



Shimane University Alumni Association

島根大学同窓会連合会 機関誌

March.2009 Vol.3

島根大学同窓会連合会事務室

〒690-8504 松江市西川津町1060 島根大学附属図書館1F
TEL.0852-32-9725 E-mail:suaa@jn.shimane-u.ac.jp

SUAA

同窓会連合会

活動状況

第2回ホームカミングデーを開催

島根大学では、10月11日(土)に同窓会連合会と共催で「第2回ホームカミングデー」を開催しました。このホームカミングデーは、卒業生の皆様に現在の島根大学の様子や教育・研究・医療等の活動状況を理解していただくとともに、同窓生同士の交流又は在学生との交流の機会としてもらうために昨年度から始まったもので、歓迎式典、キャンパスツアー、特別講演会、各学部同窓会主催事業などを実施しました。歓迎式典では、本田学長及び江口同窓会連合会長の挨拶のほか、各学部同窓会長の紹介、大学祭実行委員会から開催中の大学祭PRが行われました。そして、本学卒業生で国内外で活躍されているテノール歌手 原 拓也氏〔ピアノ:原 由香さん(拓也氏の奥様で本学卒業生)〕によるテノール独唱では、島根大学歌「天高く」、「帰れソレントへ」などのほか、旧制松高寮歌「青春の歌」も披露されました。また、特別講演会では、岩谷産業株式会社執行役員、広報・社会関連部長 伊藤理以氏(本学農学部卒業生)による「島根の偉人 岩谷産業創業者「岩谷 直治」の人生哲学について」と題した講演が行われました。



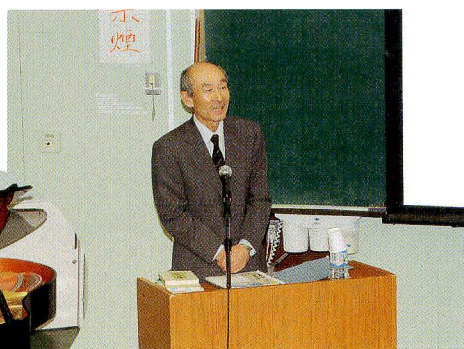
挨拶する江口同窓会連合会会長



原 卓也氏



原 由香さん



伊藤理以氏

学農学部卒業生)による「島根の偉人 岩谷産業創業者「岩谷 直治」の人生哲学について」と題した講演が行われました。

なお、歓迎式典に先立ち、同窓会連合会の役員会を開催し、来年度の活動計画等が決定されました。また、特別講演終了後には、各学部同窓会の総会や懇親会が場所を移してそれぞれ行われました。

●平成21年度活動予定●

- 4月6日(月) 入学式(くにびきメッセ)
- 第3回ホームカミングデーの開催
記日/10月10日(土)
企画/講演会、演奏会、キャンパスツアーなど
- 役員会の開催
10月10日(土)開催予定
- 機関誌の発行
機関誌「SUAA」第4号の発行(平成22年3月)
- 各同窓会への支援
ホームページの運用支援
- 卒業後の連絡先調査

島根大学同窓会連合会
Shimane University Alumni Association

島根大学同窓会連合会、大学と社会を結び、島根大学のプレゼンスを高める取組を推進します

設立の経緯

組織図

役員等名簿

行事予定

卒業報告又は
インタビュー

会員サポート又は
卒業生のみなさまへ

事務局

各学部等同窓会

関連サイト

島根大学同窓会連合会
事務局
〒690-8504
松江市島前1-1060
島根大学同窓会連合会1F
電話
0852-32-9725

新着情報

2009.10.24 第3回ホームカミングデーを開催しました

2009.5.25 同窓会連合会第10回役員会を開催しました

2007.10.22 第1回ホームカミングデーを開催しました

2007.4.9 同窓会連合会第9回役員会を開催しました

2007.3.27 同窓会連合会第8回役員会を開催しました

2007.2.9 同窓会連合会第7回役員会を開催しました

2007.2.9 同窓会連合会第6回役員会を開催しました

2007.1.12 同窓会連合会第5回役員会を開催しました

2006.12.9 同窓会連合会第4回役員会を開催しました

2006.9.25 同窓会連合会第3回役員会を開催しました

2006.7.31 同窓会連合会第2回役員会を開催しました

お知らせ

2009.6.12 第3回ホームカミングデーのご案内

2009.5.25 同窓会連合会第10回役員会のご案内

2009.5.25 同窓会連合会第10回役員会のご案内

2009.5.19 同窓会連合会第10回役員会のご案内

江口博晴
島根大学同窓会連合会会長

本田健一
島根大学同窓会連合会顧問

ホームカミングデー

同窓会HP/ <http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/>

全国初!!附属病院を含む全学でISO14001の認証を取得

島根大学は、3月14日付けで医学部及び医学部附属病院を含む全学でのISO14001認証の取得を果たしました。附属病院という大きな環境負荷のある活動範囲を含め、大学全体としてISO14001の認証取得は、国公立大学の中でも全国初(全国唯一)となり、島根大学の活動が価値ある取組みであると評価された証となるものです。

島根大学は、2006年3月に松江キャンパスにおいてISO14001を認証取得した後、毎年範囲を拡大し、本年3月、全国に先駆けて医学部及び医学部附属病院を含む全学でのISO14001の認証取得を果たしたものであり、これを機に今後も環境に配慮した活動に努めることとしています。



「指導教員と保護者との個別面談」を実施

島根大学の法文学部と総合理工学部は、7月19日(土)に、松江市内の「くにびきメッセ」で「指導教員と保護者との個別面談」を実施しました。個別面談には、全国から両学部合せて636家族、935名の参加者があり、学業成績、学生生活、就職、進学などについて、140名の教員との間で面談が行われました。



て、140名の教員との間で面談が行われました。

この個別面談は、両学部の前身である文理学部の時代から約40年にわたり両学部後援会の協力を得て実施されているもので、希望によっては学生を含めた3者面談も実施されるなど、国立大学では非常に珍しい企画となっています。

保護者の方からは、「大学という、たくさんの学生がいてその中の一人という存在が小さく、把握されにくいというイメージがあるが、わが子の様子を丁寧に伝えていただけて安心しました。」「卒業、就職あるいは進学について先生のお話がとても親身で、丁寧でよく分かり、安心しました。」など、大変好評をいただけており、毎年参加される保護者もあります。なお、来年度は、他の学部でもこの個別面談が計画されています。

男女共同参画推進室がオープン!

島根大学は、より個性輝く、活力に満ちた大学となるために、また、学問の府としての社会的責務を果たすために、率先して男女共同参画社会の実現をめざしていますが、10月1日から「男女共同参画推進室」を教育学部棟G階に開設し、業務を開始しました。10月22日(水)には、本田学長、高安室長ほか関係者により男女共同参画推進室の看板を上掲しました。

本学では、平成20年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」プログラムに、「地方から開く女性研究者の未来in島根」プログラムが採択されたほか、医学部では、平成19年度「地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム」のテーマ1「女性医師・看護師の臨床現場定着及び復帰支援」に「新しいキャリア継続モデル事業ーしなやかな女性医療職をめざしてー」事業が採択されており、これらの事業により女性研究者、女性医療職への支援を推進しています。



次期学長候補者に山本理事が決定



島根大学では、本田雄一学長の任期が平成21年3月末日をもって満了することに伴い、12月22日(月)、学長選考会議において次期学長候補者の選考を行い、山本廣基理事(企画・財務担当副学長)を次期島根大学長候補者として決定しました。任期は3年(平成21年4月1日から平成24年3月31日まで)。

山本理事は、昭和52年1月本学農学部助手、平成7年4月農学部教授、平成7年10月生物資源科学部教授、平成15年4月生物資源科学部長、平成16年4月国立大学法人島根大学理事(学生支援担当副学長)、平成18年4月から現職。

専門は、農業環境科学、土壤微生物学。大阪府出身。

島根大学旧奥谷宿舎(旧制松江高等学校外国人宿舎)の改修工事計画について

旧奥谷宿舎の改修計画がこのほど承認され、平成21年9月末の完成予定で改修工事が始まることとなりました。平成21年10月のホームカミングデーにはお披露目ができる予定です。

外部は、鉄板葺きの屋根を瓦葺(近似瓦)にて復元するなど、東外面(正面)を中心に建設当時に復元するほか、内部は、1階に展示室を3部屋、2階に資料室を2部屋設置することとなっています。



法文学部同窓会



活動状況 ●●●

平成19年から始まったホームカミングデーと併せて行う法文学部同窓会交流会（平成20年10月11日（土）開催）が年間の最大の行事です。島根大学同窓会連合会が主催するホームカミングデーが大学と各学部同窓会が協力連携して行う行事として定着・発展することを願っています。ホームカミングデーに併せて、同期会を開催する動きもみられ、こちらも広がって欲しいと思います。各支部の活動の活性化にも取り組みました。

◇ホームカミングデー・法文学部同窓会交流会

平成20年10月11日（土） 於：島根大学内、レインボープラザホテル

◇第4回島根大学広島同窓会

平成20年8月9日（土） 於：広島市内

◇同窓会関西有志の会

平成20年7月25日（金） 於：大阪市内

◇同窓会東海有志の会

平成20年7月26日（土） 於：名古屋市内



ホームカミングデー交流会

●平成21年度活動予定●

●関西支部同窓会総会・交流会

平成21年6月6日（土） 於：大阪市内

●法文学部同窓会全国総会・交流会

平成21年10月10日（土） 於：島根大学他

●同窓会年報「泓春（しょうしゅん）」第5号の発刊 （平成22年春発刊予定）

投稿メ切：平成21年9月30日

*詳しくは年報「第5号投稿の呼びかけ」
参照ください



同窓会HP / <http://www.gaku-sei.net/l-douso/>

同窓生からの近況報告



大学に学び、同窓会に学ぶ

黒谷 文

法文19期（2000年卒）

株式会社日仏文化協会で翻訳コーディネーターとして働いています。これは、端的に言うと、出来るだけ短い納期で出来るだけ質の高い翻訳サービスを提供できるよう、顧客と翻訳者の橋渡しをする仕事です。取り扱っている翻訳分野、言語は多岐にわたり、また言語は日々進化していくので、毎日が勉強です。学生時代は文学を中心にフランス語を学んだので、現在の仕事で扱う文章とはかなり異なりますが、外国語を通して新しい世界が広がる喜びは、学生時代も今も変わりません。また最近では、東京同窓会の活動にも時々顔を出しています。大先輩のお話を伺うことができ、大変勉強になります。東京方面に就職する卒業生は年々減少傾向にあるとは聞いていますが、同世代の方々の同窓会への参加がもっと増えることを願っております。



同窓生からの近況報告

大場 利信

文理20期（1972年卒）

平成20年10月11日、4年ぶりの同期生会を行いました。われわれの期は「学園紛争」の混沌とした時期に学生時代を過ごし、学業半ばに学園を去った者、大学や学生に対し不信の思いを抱えながら卒業した者あるいは「騒音」から意識的に逃れ自らの世界に埋没しつつ卒業した者など、さまざまな群像がありました。今回の同期生会には、長い間音信が途絶えていた複数の同期生諸君も出席してくれました。その後の過ごし方を聞くにつれ「それぞれがそれぞれの考えで自分の道を歩んで来ているな」と率直に感じたところです。われわれも還暦を迎えましたが、これからも絶えずビビッドな感覚を保ちつつ頑張りたいと思うこの頃です。本当に良い同期生会でした。

教育学部同窓会



活動状況 ●●●

今年度は役員改選の年度にあたっており、島田雅治前会長、松原紀子前副会長が退任、新たに田中螢一会長、大西俊江副会長が就任しました。また会則の一部が改正され、副会長に高岡信也教育学部長（役職指定）を迎え、同窓会と学部との連携をいっそう強める体制をとることとなりました。

ホームカミングデー（10月11日＝大学祭期間中）には教育学部同窓会の独自企画として次のような催しを行い、多数の会員の参加をいただきました。

1. 新しくなった教育学部学舎見学会

学部長の案内で、耐震工事が終わって生まれ変わったようにきれいになった校舎と設備を見学しました。

2. 卒業生と学生によるパネルディスカッション

「今求められている教師力ー教育学部卒業生と語ろうー」

学部教員（同窓）の司会で、現職の同窓教員3名と学生2名がパネラーとして提言を行い、フロアからも活発な意見発表があって、有意義な集まりとなりました。



卒業生と学生・教職員との交流会

（詳細はホームページで御覧ください）

3. 卒業生と学生教職員との交流会

新装なった教育学部多目的ホールで、卒業生、学生、学部教員の交流会を行いました。

「同窓会誌」第60号を発行したほか、新卒業生、新入学生とのコミュニケーションをはかるために新たに同窓会広報紙「あっと!@同窓会」を創刊しました。



パネルディスカッションの様子

●平成21年度活動予定●

- 6月 「あっと!@同窓会」
（一般会員向け広報紙）発行
- 6月 役員総会
- 10月 ホームカミングデー（10月10日）
教育学部独自企画
○卒業生と学部生による
パネルディスカッション
○卒業生と学生・教職員との交流会
- 1月 「同窓会誌」第61号発行
- 2月 学部4年生、3年生研究室代表者会
「あっと!@同窓会」
（新卒生、新入生向け広報紙）発行
- 3月 常任理事会

同窓生からの近況報告



小学校の教員として

佐堂 典子

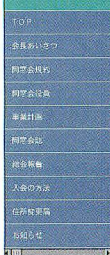
（2008年卒）

四月、これから始まる生活への期待と不安を胸に、始業式の日を迎えました。三十三年のキラキラした目がいっせいにこちらを向いている中、自分が教室の前に立って子ども達に話をしていることが、何だか信じられないような気分でした。「ついに先生になれたんだ!」という喜び以上に、「これから先生としてやっていかなければならない」というプレッシャーと不安が重くのしかかってきたのを覚えています。初めのうちは、毎日の授業を考えること、提出物をチェックすること、それだけで精一杯の毎日でした。些細な問題でさえ、どう対応するか分からず、考え込むこともありました。そんな時、話を聞いて下さったり、時間を割いて一緒に解決の方法を考えて下さったりする同僚の先生方の存在はとても心強く、本当にありがたいものでした。教職に就いて半年、ようやく、少しずつではありますが、仕事に見通しを持つことができるようになりました。しかし、本当の1人前の教師になるためには、まだまだ努力しなければならないことがたくさんあります。そんな中でも、今は特に子どもとの人間関係を築いていくことに力を注いでいます。自分の話を聞いてほしいと思っている子どもは、とても多いということが分かってきました。そこで、子どもの話や訴えに、まずは共感することを意識しながら、日々子ども達と接するようにしています。そして何よりも、子ども一人一人のキラリと光る良い所をたくさん見つけ、認めていくことのできる教師でありたいと思っています。

（『同窓会誌』第60号より転載）（島根・江津市津宮小・教諭）

島根大学教育学部同窓会

〒690-8504 島根県松江市西門外1-1-1（島根大学教育学部）
TEL 0854-34-1111 FAX 0854-34-1173
Eメール 同窓会事務局



Copyright (C) 2006 島根大学教育学部同窓会 All rights reserved.

同窓会HP / <http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/edu/index.html>

医学部医学科同窓会



活動状況 ●●●

平成20年の支部総会は東日本支部の担当でしたが、細野克彦支部長（1期）の下、8月23日ホテルオークラで盛大に行われました。4期瀬戸口靖弘君（東京医科大学第一内科）と8期楯靖君（獨協医科大学放射線科）の教授就任祝賀会を兼ねていましたが、50名を超える多くの同窓生が集い、夜遅くまで旧交を温めました。

大学祭での同窓会企画パネルディスカッションは副会長の内藤篤君（1期）が担当でしたが、昨年から大学支部長に就任した熊倉俊一君（地域医療教育学教授（7期））との共同企画で『島根大学医学部卒業生が語る医師のキャリアデザイン～明日の医学・医療を担う君たちに～』と題して10月18日に開催しました。小林祥泰病院長にもご出席いただき、森山修行君（卒後研修センター副センター長（14期））、清村真道君（大田市立病院整形外科（24期））、北村順君（循環器内科助教（11期））、千貫祐子さん（皮膚科医員（15期））、田邊一明君（第4内科教授（4期））に、ご自身の体験を基に、学生に熱く語っていただきました。

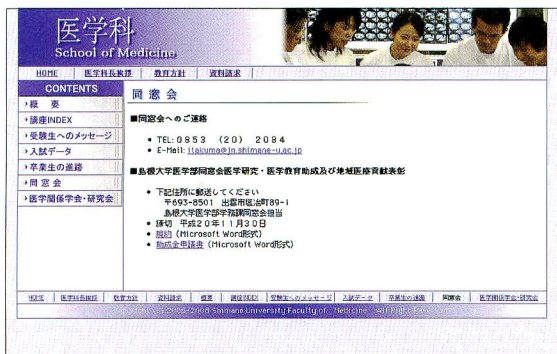
平成20年の医学研究・医学教育奨励賞は以下の2名の方々に決定し、それぞれ20万円の助成を行いました。また、地域医療貢献賞として海士町国保海士診療所木田川利行君（3期）を表彰し副賞を贈呈しました。

島根大学医学部第一内科助教 山内美香（13期）
「栄養素の骨に及ぼす影響の検討:n-3系多価不飽和脂肪酸
およびビタミンKの関与」

新潟大学医歯学総合病院第二内科医員 田島俊児（13期）
「肺線維症および急性肺損傷に対する治療薬の検討」

●平成21年度活動予定●

- 平成21年8月／関西支部総会
10月／大学祭パネルディスカッション
11月／医学研究・医学教育奨励賞
地域医療貢献賞公募
- 平成22年3月／年次総会
萌雲会会報発行
医学研究・医学教育奨励賞
地域医療貢献賞授与式



同窓会HP／<http://www.med.shimane-u.ac.jp/medicine/alumni.html>

同窓生からの近況報告



ご挨拶

田邊 一明

島根医科大学医学科4期（1985年卒）

皆さまお元気で活躍のことと思います。このたび平成20年5月1日付けで島根大学医学部内科学講座（内科学第四）教授ならびに循環器内科科長を拝命致しました。同窓会の先生方にご支援いただきましたことを感謝申し上げます。私は昭和60年に卒業後、大学病院、そして益田地域医療センター医師会病院で研修を行い、平成元年からは国立循環器病センター内科心臓部門で学びました。平成3年には本学の助手に就き、平成9年からはMayo Clinicに留学の機会を得ました。そして平成12年1月から神戸市立医療センター中央市民病院循環器内科医長として勤務してきました。島根に帰って来て、今、大学が笑顔が必要と感じています。大学に居ることが楽しいと思えるようにしてくれる人、厚いサポートと力を感じさせてくれる環境が必要です。そして大学に学生をたくさん残し、研修医をしっかり教育し、一人でも多くの医師を島根県に迎えることを地道に、かつテンポよくやっていくことが必要です。重責ですが母校に対する熱い思いを本学、島根県の医療の発展に結びつけることができれば幸いです。今後ともどうかよろしく願います。（島根大学医学部内科学講座（内科学第四）教授 循環器内科診療科長）



離島からの近況報告

木田川 利行

島根医科大学医学科3期（1984年卒）

私が島根医科大学を卒業したのは昭和59年。現在、隠岐島前3町村のひとつ海士町の診療所に赴任して15年が経ちます。今でこそ隣の西ノ島の島前病院にCTが入りましたが、赴任した当初は意識障害の患者はほとんどCT撮影のため本土までヘリ搬送を余儀なくされていたため、ひどい時は週3回ヘリに乗ったこともありました。診療科目も内科、小児科に限らず、眼科、耳鼻科、整形外科、外科と思いきりジェネラルです。島に居れば休日もなく、24時間いつでも救急対応をとっています。医師不足や医師の偏在が騒がれていますが、今の生活に慣れてしまった私にとっては地域医療もやりがいがあり、喜びも多いものと思っています。若い先生や学生達にも一度体験してみて下さいと言いたいです。若い時にいろいろな体験をするのは良いものですよ。（海士診療所 副所長）

医学部看護学科同窓会

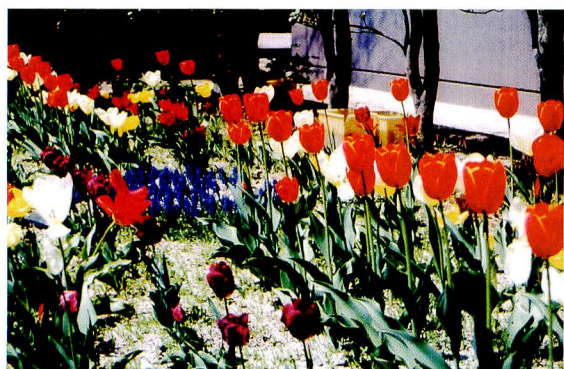


活動状況 ●●●

看護学科同窓会さくら会は、平成21年2月で設立して4周年となります。看護学科もこの春、7期生が卒業しさくら会の会員も500名を越すこととなりました。現在の会員の状況は、看護・保健師・助産師・養護教諭として現場で活動する者、大学院に進学、海外へ留学し、更に学びを深める者、島根大学の教員となり後輩の教育に励む者と様々ですが、さくら会設立10周年を目標に、成長した会員が母校と島根に恩返しできるようUターンを含め、計画中です。

平成20年度より、学生支援、地域医療の発展のため、島根の地域医療の発展を目標とした医学部の学生企画に対して助成を行っており、現在までに5件の企画のお手伝いさせていただきました。そして、平成21年度は、新病棟の建築工事も進むなか、1期生が入学時より力を入れていた学内の緑化計画、散歩道づくりなど、学生のサークルと連動し行っていきたいと企画しています。

また、医療者が不足している島根に対し、地域住民の方々が安心して医療を受けることができるよう、さくら会は貢献していきたいと考えています。



●平成21年度活動予定●

- 平成21年5月 役員総会
 - 平成22年2月 さくら会会誌発行(5周年記念誌)
- その他、「学内の緑化計画、散歩道づくり」の企画、ホームカミングデーに合わせ、講演会等計画中です。



同窓会HP / <http://www.shimane-u-kango.jp/39.html>

同窓生からの近況報告



がん看護専門看護師を目指して

山岸 美紀

島根医科大学看護学科1期

私は看護学科の第1期生として卒業後、国家公務員共済組合連合会虎の門病院に就職し、5年の臨床経験後、平成20年度に兵庫県立大学の大学院に入学いたしました。大学院ではがん看護専門看護師を目指して、現在勉学に励んでおります。卒業研究では、上岡澄子教授の研究室でお世話になりました。思えば、卒業研究での喉頭がんの患者さんとの出会いが、今の自分の原点となっており、あの時感じた“患者さんの希望をずっと支えていきたい”という思いは、今もそのまま自分の目標となっています。今後は患者さんだけでなく、同じ分野で働く同期や後輩を勇気づけられるような存在になれるよう、頑張りたいと思っています。



島根の地域医療を担う一人として

勝部 久美子

島根医科大学看護学科1期

私は、島根大学医学部看護学科を一期生で卒業し、現在は附属病院で看護師として勤務しています。そして、病棟で勤務する傍ら、大学院へ進学し家族看護について学びを深めました。昨年は、ハワイ大学へ地域医療の研修に行ったことがきっかけとなり、看護部と看護学科が協力しワーキンググループを作り、島根県内の4病院の看護師を対象に「看護連携見学会」を企画しました。見学会では「顔の見える」連携を目標とし、附属病院内で研修を行い、地域中核病院と互いの役割を再認識することができました。附属病院からも川本町の加藤病院へ研修に行かせていただくなど、地域中核病院の協力も得て、現在島根県内の看護連携が抱える現状や問題を明らかにしている最中です。島根大学を卒業し、島根の地域医療を担う一人として、地域医療の活性化のためによりよい“連携”を繋いでいくことが今後の課題です。

総合理工学部同窓会



活動状況 ●●●

総合理工学部同窓会では、第19回理事会を島根大学ホームカミングデー当日(平成20年10月11日)に合わせて開催し、次のような二つの重要な議題について話し合いました。

先ず第一の議題は、4年毎に開かれる総合理工学部同窓会総会開催についてであります。その開催日時は平成21年秋の島根大学ホームカミングデー(平成21年10月10日の予定)の諸行事に合わせて行うことに決定しました。その詳しい具体的企画内容については、改めて総会開催案内で会員の皆様に御報せします。

また、本年は同窓会会員名簿の改訂を行う年でもあります。同窓会活動の充実発展のため、会員相互の連絡をとり、親睦を深めることが大切であり、そのためには同窓会会員名簿は必要不可欠なものであることを御理解頂ければ幸いです。

平成20年10月25日には、総合理工学部東京支部同窓会が島根イン青山(東京)で開催され、島根大学からは本田学長と竹内総合理工学部長には遠路にも拘わらずお出掛け頂き、母校を思う暖かい多くの卒業生に囲まれて、盛大に行われました。総会に先立って、文理学部14期地学出身の中尾征三氏による講演があり、会員相互の親睦と共に、互いに啓発する一時もたれました。



改修中の総合理工学部1号館
(平成21年4月には再び美しい学舎をみることができます)

●平成21年度活動予定●

- 平成21年4月
平成20年度卒業生の動向調査完了
(同窓会名簿の基礎資料)
- 平成21年7月
総合理工学部同窓会理事会の開催
- 平成21年9月
総合理工学部同窓会理事会の開催
- 平成21年10月
島根大学ホームカミングデーにあわせて、総合理工学部同窓会総会及び懇親会の開催
- 平成21年11月
総合理工学部同窓会会員名簿の発行
- 平成21年12月～22年3月
総合理工学部入学予定者への同窓会入会案内・総合理工学部同窓会理事会の開催・平成21年度卒業生の動向調査開始(同窓会名簿の基礎資料)



同窓会HP / <http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/riko/index.html>

同窓生からの近況報告



東京支部活動と社会還元

植田 英夫

理科学部第8期(1960年卒)

第7回総合理工学部東京支部同窓会は昨年10月25日島根イン青山で開催し、大学から本田学長、竹内総合理工学部長を来賓に迎え、本部同窓会より奥村教授が出席し、総勢約50名の盛大な集いとなった。懇親会では出席者間のそれぞれ思い出深い会話が弾むと共に、島根大学の置かれている立場を相互に理解し、大学・卒業生間の相互交流が今後益々活発化する有意義なパーティーとなった。一方、私個人的な近況として、地元藤沢市で芸術文化活動に力を注ぐ傍ら、勤務時代の知識と経験を生かして小学生を対象に学校や公民館で“出前体験写真教室”を開いている。微力ながら社会への恩返しのため次世代を担う子供たちに創造する喜びを伝えたいと取り組んでいる。



全く、畑違いの分野の仕事に就いて、カレコレ25年

大野 純一

生物学科4期(1985年卒)

やっぱり、人を幸せに出来るのは、人でしかない

ソフトウェアの開発、IT技術が、「人」との関わりあいの中で、仕事における効率化や生産性の向上は勿論、安心、安全な暮らし、省エネ、環境への配慮等、時代とともに、常に必要とされる技術を生み出さざるを得ない企業でありたいと願っています。キーワードは、地域社会と次世代を担う若者達

2000年から毎年、2月・3月には新卒採用で、広島、山口、福岡とあわせ、元氣な後輩を採用すべく帰郷しています。不思議なもので、島大の学生さんと話をしている間は、自分も25年前にフラッシュバックしてしまい、わけも無く元氣が湧いてきます。(笑)いくつになっても、母校とはありがたいものです。

昨今の経済情勢や経営効率に着目すれば、かなり時の流れに逆行していますが、2010年までに、福岡オフィスを、2015年までに、島根オフィス開設を目標に、地方出身の若者達と一緒に取り組んでいます。(株式会社 ソフト開発 代表取締役)

生物資源学部同窓会



活動状況 ●●●

同窓会名簿の発行と同窓会の開催

生物資源科学部同窓会では、4年ぶりに同窓会名簿発行と同窓会を大学主催のホームカミングデー当日に開催いたしました。

名簿は前年から綿密な準備を進め同窓生の皆様の協力のもと8月に発行しました。一方、同窓会は全国にいる同窓生に案内を出し、当日の会場には多くの同窓生が集いました。本田学長、山本副学長、谷口学部長参加のもと集合写真撮影から始まり、各方面の方々のスピーチの後、それぞれに近況を語り合い、親睦を深めました。

最後に、長年当同窓会の会長を務められた箕弘伸氏が勇退の挨拶の後、新たに会長となった寺井敏夫氏、副会長となった今岡康彦氏の就任の挨拶に全員賛成の拍手を贈り同窓会を終了しました。



●平成21年度活動予定●

1. 卒業生研究発表会
2. 評議員会・理事会の充実強化
3. ホームカミングデーの協賛事業
4. その他会員との親睦を図る事業



同窓会HP / <http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/life/index.html>

同窓生からの近況報告



「島根農業協同組合研究会」の設立と産学連携

矢島 敏治

農学部2期（1970年卒）

昭和45年に農学部農学科を卒業以来、農業協同組合（JA）の一員として、島根経済連（平成10年に全国農業協同組合連合会と統合し、JA全農島根県本部に改組）で34年、続いてJA島根中央会で5年。大学の専攻の植物病理とは異なる就職先でしたが、長年にわたり農協運動の一端を担えたことは、正に「継続は力なり」を痛感しています。さて、昨年12月、島根大学において、大学と県内JAグループ協同で「島根農業協同組合研究会」（会長谷口憲治生物資源科学部部長）の設立総会並びに第1回研究会を開催しました。この研究会は、国内食料自給率の低下、食の安全への不安、自然環境の悪化、農業・農村や地域の疲弊等、課題山積みのなかで農業協同組合の果たす役割を理論的・実践的に研究することを目的としています。卒業生の一人として、このような形で母校との新たな接点ができたと喜んでます。今後ともこの会が有意義なものになり、これを契機にJAグループ島根との産学連携が益々拡がることを念願しております。（JA島根中央会 勤務）



同窓の仲間との出会い

柳楽 節雄

農学部2期（1970年卒）

100年に一度の経済危機により、市場原理一辺倒の社会が崩壊。いよいよ協同の時代が到来し、農業も注目されています。協同と農業に確信を持つ、人生の出発点となったのが、農業経済学科の四年間でした。1970年に家の光協会に入会し、農協界の一員として、出版と教育文化活動を通じて協同と農業の重要性を唱えて39年、全国の農協（JA）を歩いています。島大の仲間が各地で活躍しており、同窓と分かつと先輩後輩を問わず、旧知の仲となり、熱い人間関係が生まれます。「家の光」も創刊1000号を迎え、日本で部数第二位の雑誌としてJAの組織基盤づくりに尽力しています。同窓生はJA、県連、全国連や農水省にも多数おり、活躍しています。島根はもとより東京から九州まで広がり、小さな大学といえ、同窓生は大きな絆です。今年は東京でも島大同窓会連合会の集まりに農学部同窓生も参加しようと思います。（社団法人家の光協会専務理事）

旧制松江高等学校同窓会

活動状況 ●●●

1. 会議・集会

全国各地の支部から選出された理事による全国理事会を、年1回、東京、大阪、松江の3箇所のうちから、持ち回りで開催する。松江での理事会の機会(3年に1回)に全国総会を併せて開催する。

各支部では、独自に支部総会、懇親会、講演会、ゴルフ大会その他の同好会などを催している。

2. 同窓会員との連絡、情報交換

松江の同窓会本部から、同窓会機関誌「翠松」を年3回発行し、各支部活動の状況、会員の動静、消息、会員の旅行記。会員の文芸作品の発表、あるいは各期クラス会の報告等を掲載する。

3. 同窓会本部の活動

20年度には、定例の会議、機関誌の発行などの業務とともに、第12回松江寮歌祭を開催した。

全国から30近い旧制高校、大学予科の卒業生200余名が集まり、各校が誇りとする寮歌を熱唱交歓した。



旧制松高同窓会

●平成21年度活動予定●

1. 定例の会議・集会等

同窓会全国理事会を4月に松江で開催する。各支部では、支部の実情に応じて独自の企画で集会その他の行事を行う。

2. 機関誌「翠松」の発行(年3回)

後継者のない旧制松江高校の場合、同窓会の高齢化に伴う会員数の減少は免れない。既に1000人弱となった同窓生の深い松江への郷愁と、強い母校愛を、力強く表現し交歓するメディアとなっている。

3. 寮歌祭活動

青春時代への回帰の縁(よすが)となっている旧制高校の寮歌は、全国各地の寮歌祭となって開催されている。

松江高校同窓会が主催する松江寮歌祭は、4月11日全国から猛者を集めて華々しく開かれる。

同窓生からの近況報告

フランス・アヌシーの旅

山本 俊介

25期理甲3(昭23年卒)

フランスの東部、ローヌ・アルプ地方のアヌシーは、アルプスの山々を映すセルリアンブルーの美しい湖に面している。ジュネーブまで北に30kmという近さもあってか、スイス的な雰囲気も感じられる。湖とローヌ川とを結ぶティウー運河の兩岸に造られた旧市街は、古い建物や運河の中洲に築かれた宮殿(旧牢獄)もあって、情緒のある一角だ。よく整備された遊歩道には、季節の花が飾られていて、旅行者の眼を楽しませてくれる。

(2009年2月記 東大工・建築卒
元清水建設常務)



フランス ローヌ・アルプ アヌシー 2009. 5. 14. 画 山本俊介

【ご協力ありがとうございました。島根大学支援基金にご寄附をいただいた皆様 (50音順) 平成21年2月末現在
※ご寄附をいただいた皆様の中で、「HP等への掲載を希望しない」とされた方は、掲載しておりません。

〈法人等からの御寄附〉

(株)コアズ 篠崎 涼・篠崎 學 医療法人淳和会 医療法人久丈会水永歯科医院 島根大学医学部歯科口腔外科学講座 (有)松陽印刷所 (株)ミック
島根大学教育学部同窓会東京支部役員会 (有)高浜印刷 八雲会 島根県中小企業団体中央会 松江市立出雲玉作資料館友の会 (有)うらべガレイジ

〈個人からの御寄附〉

【ア行】	東	秀一	池上	恭子	泉	義之	井上	直樹	上田	潤	枝松	哲彦	大森	圭三	小草	宏
合田	国広	麻生	祐司	池上	板倉	和夫	井上	肇	上田	純一	衛藤	健治	大森	三典	奥田	宏均
相戸	ひろ子	足立	悦男	池田	板村	裕之	井上	克	上田	信良	榎	隆憲	大矢	浩敬	奥名	重信
相原	紀子	安達	健児	池田	市川	正之	井上	真知子	植田	英夫	榎本	修造	大山	敬子	奥野	忠利
青木	歳博	安達	浩司	池田	市川	真澄	井上	康男	植谷	定夫	榎本	亮三郎	岡	和夫	奥原	典子
青木	道代	足立	重巳	池田	一柳	成幸	井上	雄二郎	上野	誠	江本	徳三	岡	一宏	小椋	拓
青木	雄二	安達	仲次	池田	井出	宏之	井原	趣	上野	眞義	遠藤	高義	岡	真司	尾崎	弘登
青砥	一彦	足立	徳郎	池田	伊藤	宏之	井原	直樹	上原	正義	遠藤	博文	岡	正志	小笹	登志郎
青戸	元也	足立	廣	生本	伊藤	一義	井原	紀雄	宇佐美	威	遠藤	励志	岡	宏	小笹	裕子
青山	林	安達	富美子	生本	伊藤	勝久	今岡	健司	牛尾	富貴子	大	綱男	岡	弘道	小笹	基
赤坂	一	足立	文彦	石尾	伊藤	清宇	今村	康彦	臼田	敦	大	重人	岡	泰宏	小澤	和江
明石	早智子	安達	美和子	石賀	伊藤	サカ工	今村	淑子	宇高	英憲	大	裕史	岡崎	鉄男	小澤	崇良
秋田	一郎	安達	庸二	石倉	伊藤	昭夫	入江	正昭	内久	保晋一郎	大	則美	岡崎	寛子	尾島	賢治
秋山	努	安立	良	石倉	伊藤	昭子	岩井	陽子	内田	義孝	太田	勝巳	岡崎	芳昌	押目	洋介
秋吉	英雄	安部	章	石倉	伊藤	國男	岩城	知子	内田	松寿	太田	俊男	岡田	和悟	尾添	邦廣
阿久戸	敬治	安部	かよ子	石田	伊藤	邦夫	岩城	雄治	内田	晴彦	大	逸雄	岡田	緒方	尾添	晴子
吾郷	達郎	安部	登	石塚	伊藤	大祐	岩浅	亨	打和	敏治	大	巖	岡田	緒方	尾添	嘉久
吾郷	チエ子	安部	雅子	石飛	伊藤	周一	岩佐	順吉	内海	茂	大	集	岡野	良訓	尾	鉄也
浅井	健一	安部	正美	石飛	伊藤	淳一	岩佐	道子	宇畑	敬士	大	集	岡野	章	小武	道雄
浅尾	俊樹	安部	利一	石飛	伊東	健	岩崎	巖	梅沢	信子	大	覺	岡本	七海子	落合	俊夫
浅尾	治郎	天野	祐二	石野	伊東	豊	岩崎	健	浦	正澄	大	忠己	岡本	昭治	小野	興太郎
浅沼	智	天野	三重子	石橋	伊東	容久	岩崎	利晴	浦部	正	大	俊江	岡本	孝夫	小野	征男
浅沼	誠夫	新井	基義	石橋	井戸口	勇	岩崎	洋亮	占部	忠治	大	出穂	岡本	道行	尾原	昭夫
朝野	敏江	有馬	毅一郎	石原	稲生田	妙子	岩田	奨	占部	義和	大	明夫	岡本	康昭	尾原	美和子
浅野	憲雄	飯塚	節子	石原	稲垣	卓司	岩田	俊治	江口	和宏	大	利信	岡本	恭英	尾原	良孝
浅野	慶憲	飯塚	藤兵衛	石原	稲田	樹	岩田	善雄	会下	和宏	大	泰夫	小川	澄男	尾原	陽好
浅村	裕	飯塚	敏夫	石原	稲田	治雄	岩谷	忠正	江崎	眞三志	大	俊正	小川	照子	小村	悦雄
安食	洋子	生田	勝	石原	稲村	勇	岩成	芳延	江島	和代	大	誠一郎	小川	美栄子	小村	信男
蘆田	義郎	井中	美恵	石原	犬山	玲子	岩見	純一	江角	郁夫	大	拓雄	興津	勲	織奥	恩田
芦矢	敦子	生中	雅也	井島	大井上	三郎	岩上	喜久生	江角	吉造	大	義隆	奥	美奈子	小	光男
小豆澤	薫	池内	徳義	石本	井上	武夫	上田	篤	江角	淳	大	勝之助	奥川	賀夫	小	
小豆澤	俊夫	池岡	清光	泉	井上	照之	上田	育子	江田	治義	大	保昭	小	郁子	小	

【カ行】		片山	勲	金子	博	河井	洋子	神田	智	北山	新二	工藤	宏子	黒田	弘之	小	祥
甲斐	嗣章	片山	緑	金坂	喜好	川上	溪一	神庭	賢一	吉川	通彦	国井	加代子	桑木	宏	林	泰
垣羽	寿昭	片寄	文雄	金坂	嘉則	川上	美子	神庭	猛夫	城戸	弘宗	國井	秀伸	小池	理平	林	和
寛	哲郎	勝部	貞治	金築	修	川上	立雄	木上	桔梗	杵築	朋子	國田	志男	江南	千恵子	林	恵
寛	弘仲	嘉戸	勇記	金築	文雄	川口	公男	桔梗	正孝	木野	明	久野	三慶	郷原	健	林	定
景山	明彦	加藤	和臣	鐘推	義憲	河崎	義輝	菊岡	祐一	木下	芳一	窪澤	眞一	古賀	比呂志	林	准
景山	博	加藤	和祐	金本	文子	川添	俊男	菊池	智之	木原	淳一	久保田	康毅	小坂	芳樹	林	昭
景山	芳人	加藤	克夫	鎌田	益幸	川瀬	義一	菊池	智之	木村	茂夫	久保田	高生	小櫻	和裕	林	裕
笠原	善郎	加藤	幸洋	神岡	十三雄	川田	信行	岸井	正憲	木村	高司	熊谷	照恭	越野	治	林	治郎
加治	卓郎	加藤	順	亀井	一昭	川田	昭	岸原	健司	木村	敏子	熊取	栄一郎	古城	幸夫	林	秀
梶村	光男	加藤	巡一	亀谷	惠隆	河那	博	木曾	雅之	木村	誠	久米	努	小谷	仁也	林	裕太
春日	詩織	加藤	喬	亀谷	貴美子	川西	淑秋	北井	睦郎	木村	雅俊	倉井	正喜	小倉	征夫	小	博
春日	聡	加藤	行昭	鴨川	雄	河原	浩一郎	北崎	良治	木元	理夫	倉都	金次郎	児玉	惠博	小	昌
加田	幸治	加藤	礼一	加本	純夫	河原	剛	北里	房義	清洲	信子	倉橋	春樹	小玉	正雄	小	安
片岡	明子	角屋	正治	栢野	富行	川向	誠	北谷	与志照	桐村	重喜	蔵増	明生	後藤	裕二	山	修
片岡	和博	門脇	由生	幸島	唯	川本	謙一	北野	裕市郎	日下	坦	栗栖	明	後藤	裕二	小	和
片岡	初美	金澤	正直	刈田	隆吉	神崎	俊	北山	清士	草開	康弘	栗田	章一	小沼	伊都子	近	男
片刈	結衣	兼折	博	河合	康一	神田	賢司			楠	伸治	黒崎	戊	小橋	達也	小	合

【サ行】		坂本	丈夫	佐々木	直樹	塩川	銀三	渋谷	紘	昌子	喜信	杉原	明	住田	富士夫	曾田	伉
齋木	良司	坂本	一光	佐々木	雨	塩田	直也	嶋江	政喜	正尺	弘樹	杉元	邦太郎	須山	博子	曾田	悟
齋藤	喜美江	坂本	滋郎	佐々木	幹法	塩田	弘真	島田	一嗣	正尺	宗雄	杉山	淳教	須山	幸治	曾田	弘喜
齋藤	健児	坂本	雅邦	佐藤	秀一	塩田	潔	清水	兼男	白石	美代子	杉山	悦子	清野	孝至	曾田	了司
齋藤	重徳	坂本	昌士	佐藤	近義	重元	良夫	清水	修一	白鹿	千寿	鈴木	巖	盛山	正義	園田	誠
齋藤	忍	相良	英輔	佐藤	利昭	重康	敏明	清水	純	白岩	幸枝	鈴木	清人	瀬山	雅也	園田	哲也
齋藤	修省	佐川	敏一	佐藤	均	穴戸	俊夫	清水	義男	塩飽	邦憲	鈴木	亨	瀬下	一也		
齋藤	雅信	佐川	紀子	佐藤	真知子	穴戸	襄壘	清村	貞夫	新川	修	鈴木	正一	節田	誠二		
坂井	竹三郎	崎村	俊彦	佐藤	幸雄	篠田	猛	下川	好之	新宮	多加志	鈴木	武	世良	守		
境	英俊	崎村	政幸	佐藤	和夫	柴田	久美子	下田	康夫	新宮	彦助	須田	道雄	薦田	万洲生		
坂米	三恵子	作野	広和	佐藤	伸一	柴田	午郎	下村	悦郎	新屋	秀幸	仙田	憲正	仙田	久仁男		
坂口	淳一郎	佐々木	和彦	佐野	幸三	柴田	博	車野	洋一	末田	雄造	角	莊三	宗	陽子		
坂田	太郎	佐々木	ケイコ	佐野	一	渋谷	聡	城一	卓	末吉	利幸	澄川	光成	曾田	晃正		
坂野	百合勝	佐々木	孝	佐山						杉	和子						

【タ行】		高須	佳奈	高橋	興一	高橋	ユリ江	田口	眞	武田	英男	竹村	國彦	橘	三空雄	田中	和
大門	節子	高田	晃平	高橋	敏	高松	祥子	竹井	克之	竹田	正之	竹本	和美	伊達	清之	田中	弘
高尾	一誠	高田	裕行	高橋	志郎	高松	克己	竹内	應之	武田	仁勇	田子	智彦	田中	盟人	田中	澄夫
高尾	源峰	高塚	尚和	高橋	忠文	高山	満里子	竹下	忠昭	竹永	三男	田江	泰彦	田中	章	田中	星二
高尾	節子	高塚	寛	高橋	矩子	高山	陽子	竹下	正博	竹原	敏夫	田坂	郁夫	田中	明	田中	正
高岡	信也	高取	謙次	高橋	正訓	瀧谷	健二	武田	健作	竹部	美智雄	多々納	道子	田中	淳	田中	俊
高川	敏夫	鷹野主	務	高橋	真寿美	高橋	明	武田	久男	武	昭雄	橋	昭弘	田中	薫	田中	夫

